

概 況

令和7年9月に発生した事故についてお知らせします。

★工事関係者事故（死亡0件、傷害1件）

- ・ 傷害事故が1件発生しました。
状況は、剪定作業中に電動剪定バサミで指先端を切断、休業12日となりました。

★公衆事故（死亡0件、傷害0件、物損0件）

- ・ この期間、事故は発生しませんでした。
今後とも事故のない安全な建設現場を目指しましょう。

一現場・安全ひと工夫

～ 「ちょっとした工夫」で、安全な現場環境づくりの推進をお願いします！ ～

今回は、建築工事現場から「見える化」（作業員の安全確保）の事例を紹介します

対策内容：工事関係に関わる仮設扉への開閉範囲を示し工事関係者・施設職員へ 注意喚起と接触事故防止を目的とする

扉の開閉範囲を示している



他の現場も実践！



好事例は引き続き紹介します。アイデア募集中！

A-pressについて

『A』は、ずばり安全（Anzen）の“A”
『A』は、アルファベットの最初の文字
工事等に当たり、安全は最も優先されます。
安全意識の向上と情報共有のために、
工事等の受発注者に毎月発信していきます。

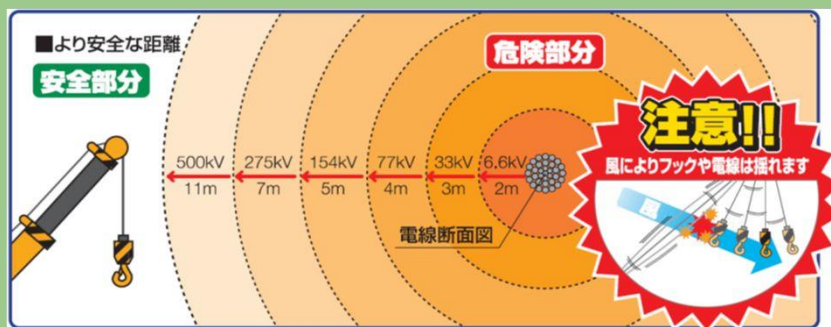
～ 安全ひろば ～

（特集）架空線には近づくな

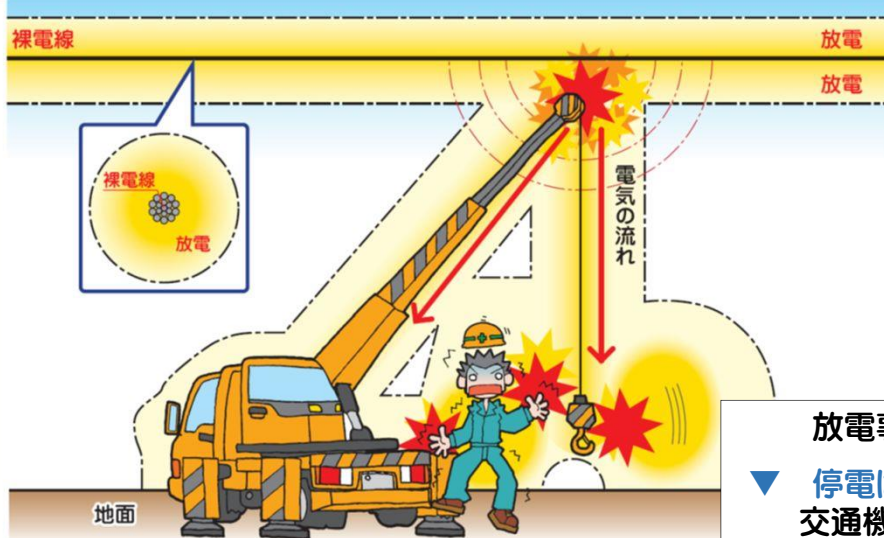
1本の電線に近づくだけで放電します。

労働安全衛生規則の電線との離隔距離

電線路の電圧	最小離隔距離 (労働安全衛生規則)	より安全な距離
配電線 100V, 200V	1.0m	2.0m
6,600V	1.2m	



放電事故はこうにしておこります!!



- ▼ 触れていなくても感電
作業員の生命にかかわる

放電事故の影響

- ▼ 停電は社会的に大影響
交通機関が止まる
病院が停電
工場が止まる
住宅が停電
- ▼ 補償問題に発展

詳しくは、中部電力パワーグリッド「電線の近くで作業される方へ」で検索

安全対策に関する情報をください。

（工事検査課担当 近藤:054-204-1163）